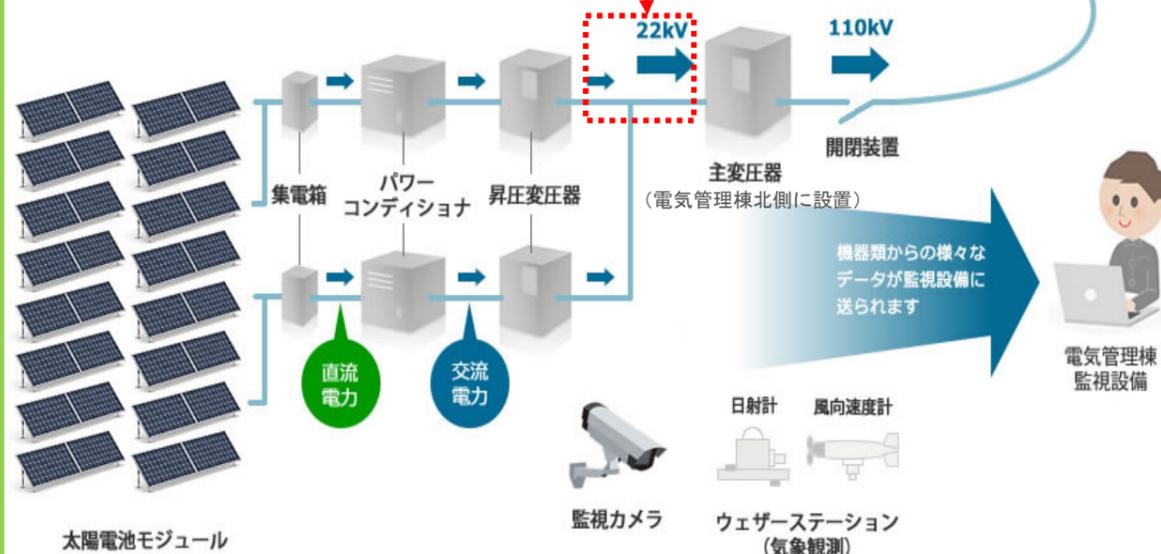


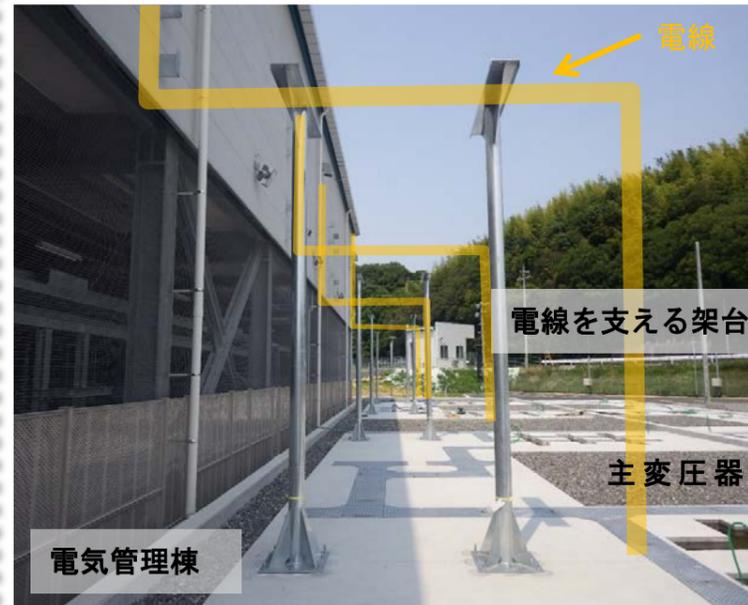
発電所の仕組み



電気管理棟北側に設置する予定の主変圧器。電線（橙色）を設置する工事をしています。（右記）



電気管理棟で、電線の設置が進んでいます



重い電線を支えるため、鋼製の架台を組み立てました。



電気管理棟の集電盤から、電線は箱状のケース(バスダクト)の中を通します。



たくさんの電気を流すため、電線はアルミニウムでできた带状の太い電線を使用しています。分割されたバスダクトを継ぎ合わせて、電線路を作ります。



室内が狭いため、バスダクトはカニのような特殊なクレーンで据え付けます。カニクレーンは折りたたむと小さくなり、狭い場所でも入って行くことができます。